

令和6年度 松本市立寿小学校 グランドデザイン

学校教育目標

明るい子ども

なかまのわをひろげる子ども

○友とかかわり合いながら力をつけ、共に伸びていく子ども

強い子ども

こころとからだをきたえる子ども

○粘り強く追究し、確かな力をつけていく子ども

考える子ども

自ら考え、人・もの・ことにはたらきかける子ども

○人・もの・こととつながる中で、考え、はたらきかける子ども

重点目標

「さあ、やってみよう」(あいことば) とする力

◆「子どもに委ねる」授業

- ・問いや願いからはじまり、追究の中で、わたしの言葉表現していく主体的な学び
- ・探究活動への取組
- ・個別最適な学び、協働的な学びを一体的な充実による主体的・対話的で深い学び
- ・単元内自由進度学習
- ・「聞く力」「ことばの力」を身につけ、考え、表現する。
- ・ICT機器の活用

自ら学ぶ子どもを育む

◆互いを認め合う学級

- ・互いの違いを認め合い、困りを伝えたり受容したりする
- ・道徳・人権教育の充実

◆交流活動

- ・児童会活動(自治的活動・試行錯誤して取り組む活動・異年齢児童の協力)
- ・「寿小学校なかよし宣言」の実行

自ら考える基盤となる力

・言語能力 ・問題発見・解決能力 ・情報活用能力

一歩ふみ出す基盤となる力

・行動する力 ・対話する力 ・協調力

学びの柱

人・もの・こと とつながる学び

学び続ける教職員

◆資質能力を育むカリキュラム編成

- ・教科横断的なカリキュラム編成
- ・探究的な学習の位置づけ

◆個に寄り添う支援

- ・授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の提供
- ・子どもの願い、困りに寄り添う
- ・学級専科経営をきき合う会による児童理解の促進

◆研究テーマ

『「さあ やってみよう」と自ら動き出す子ども』
～子どもに委ねる授業づくりを通して～

◆授業づくり(授業改善)

- ・目指す授業の共有 ・授業を見合う場の設定
- ・個別最適な学び、協働的な学びへの取組による、「子どもに委ねる授業」への挑戦
- ・生活・総合的な学習の時間の「ロードマップ」の活用

家庭・地域との連携

◇家庭と共にあゆむ学校

- ・学校運営、目指す子ども像の共有
- ・家庭と「共に育てる」姿勢
- ・家庭への情報発信
- ・PTA活動の支援

◇地域と共にあゆむ学校

- ・コミュニティスクールの活動の充実
- ・地域素材、地域人材の活用
- ・学校から地域に貢献できる取組の実施
- ・地域への情報発信
- ・幼保・小・中の連携推進

◇家庭・地域と共につくる安全・安心な学校

- ・健康教育、保健・安全指導
- ・感染予防、体力づくり
- ・引渡し訓練の実施

長野県 教育課程・学習指導改善の目標

- 子供の多様性を包みこみ、「生きる力」を育む教育の推進
- ・問いのある授業 ・みんなの教育課程 ・つながる学校

学校長の願い(子どもの伸ばしたい力)

- ・自ら取り組み、課題を見出し、粘り強く追究して、問題を解決していく力
- ・互いの違いや良さを認め、相手を思いやり、共に力を合わせて取り組もうとする力

教職員の姿勢

- ・子ども第一、子どもが主人公・学び合い、学び続ける教職員集団

松本市教育大綱

「子どもが主人公 学都松本のシンカ」

- 一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び
 - 未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び
 - 自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び
- <重点>
- ①誰一人取り残すことのないシステムの構築
 - ②子どもにとって魅力的な学校環境の整備
 - ③「遊び」や「体験」を大切にしたい学びの拡充